

福知山線脱線事故から19年



鉄道安全はいま...

2005年4月25日、JR西日本福知山線 塚口～尼崎間で発生した列車脱線事故は107名の尊い生命を奪い、562名の利用者が負傷されました。私たちは同じ鉄道で働く労働者として福知山線脱線事故を教訓に事故の背景にあった人権無視ともいえる異常な日勤教育の是正や真実を語れる職場風土の創造に向けて取り組んできました。

現在の職場実態はどうでしょうか。コロナ禍での赤字経営脱却に向けた「稼ぐ」方針が色濃く出されたことで現場実態を置き去りにした効率化の追求、線区を熟知した職場のプロを強制的に異動させた「新たなジョブローテーション施策」によって社員から生きがい・働きがいを奪った結果が繰り返される事故・事象ではないでしょうか。こうした状況に現場では「福知山事故前夜」を危惧する声が上がっています。

私たち鉄道で従事する労働者として、利用者はもちろん共に働く仲間の命を危機に晒すわけにはいきません。

**いまなお繰り返される会社からの労組ハラスメント撲滅！
健全で安全に働ける企業と安心して利用できる鉄道を
全職場から創り出していきましょう！**